

1. 県立高校の目指す姿

魅力ある高校教育を通じた「ウェルビーイング」の向上

～学びたい、学んでよかったですと思える高校づくり～

学びの質の向上

生徒の幅広い
選択肢の確保

社会のニーズを踏まえた
教育体制を整備

学びの改革《とやまの新しい教育の創造》

＋新たな学び・多様な学び・未来を拓く学びの場を目指して

【学科構成】

職業系専門学科単独校

- ・多様な小学科を設置

総合選択制高校

- ・複数の学科の枠を超えた学びを実践

普通科系高校等

- ・教科等横断的な学びを実践
- ・特色ある学びができるコース等を設置
- ・地域の特性を生かした学びを実践

総合学科設置校

- ・普通科と職業系専門学科の両方を学べる科目を開設

様々な
学科構成



【学校規模】

中～大規模校

- ・幅広い学びの選択肢を確保するため、多くの学科や科目を開設する高校
- ・設置学科の一部に特色あるコース等を導入する高校
- ・特色ある学びに必要な科目を開設する高校

小規模校

- ・専門的な科目に特化した教育課程の作成等の工夫により、小規模でも運営が可能な高校

※小規模のメリットを最大限に生かす工夫が必要

様々な
学校規模



2. 学科・コースの見直し

特色・魅力ある教育課程の実現 ICTの効果的な活用 効果的な情報発信 教育活動を支援する取組みの推進

普通系学科

学科・コースの新設

- ・データサイエンス
- ・グローバル
- ・地域連携

農業科

テクノロジーを生かした農業教育

- ・SDGsの実践
- ・AIやIoTの利活用
- ・スマート農業技術の導入

水産科

時代のニーズを取り入れた水産教育

- ・6次産業化
- ・環境保全型の水産業に関する研究

工業科

社会の変化に応じた学科・コース

- ・デジタルものづくり
- ・工業デザイン
- ・防災・社会基盤維持

商業科

社会の変化に応じた学科・コース

- ・起業家精神を学ぶ取組み
- ・普通科コース化等

家庭科

ウェルビーイングを向上させる取組み

- ・課題解決型学習
- ・地域やNPO法人等との連携

看護科

最新医療教材を用いた学習活動の充実

- ・医療現場に近い学習機会の拡充
- ・地域の医療機関との連携

福祉科

時代の変化に対応できる介護福祉士の育成

- ・チームケアを意識した協働的な学習の充実

総合学科

系列の学びを通じた専門性の向上と課題探究型の学びの充実

- ・時代の変化等に応じた系列の整備
- ・キャリア教育の推進

定時制・通信制

多様な生徒に対応した学びの場の充実

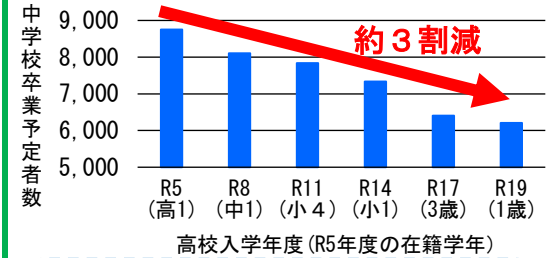
- ・外部人材を活用した生徒支援体制
- ・多様な生徒に対応した教育課程

3. 様々なタイプの学校・学科

- ・中高一貫教育校
- ・国際バカロレア（IB）認定校等
- ・全国募集
- ・外国人生徒に係る特別入学枠 など

4. 県立高校再編の検討

○中学校卒業予定者数の推移



現在の学校数を維持した場合、多くの県立高校が小規模校となる。

《平均学級数》

R5年度
4.6学級

R14年度
4.0学級

R19年度
3.4学級

○再編検討の方向性

生徒が一定の通学時間内の高校から多様な選択ができるよう、様々な学科構成や規模の学校をバランスよく配置するための検討を進める。

学校規模が、1学年4学級未満又は160人未満の規模の学校については、再編統合の検討の対象とする。

ただし、全県的な視野から特色ある教育活動の展開が期待できるなど特別な事情（職業科単独校、地理的な制約）を考慮して検討する。

学校規模が、1学年4学級以下又は160人以下の規模の学校についても再編統合の検討の対象とするなど、検討の範囲を広げることも考えられる。